

# 日野市立平山小学校

## 虹のかけはし



### コロナ禍での読み聞かせ

コロナ禍という未曾有の事態を受け、学校教育活動は大きな制約を受け、たくさんの「我慢」を強いられる毎日が続いております。

子ども達が毎回心待ちにしていた「読み聞かせ」も例外ではなく、児童・学校関係者と読み手の安全を考えると、読み聞かせ活動も休止せざるを得ませんでした。そんな日々の中、ある児童から「今度いつ読み聞かせはあるかなあ」という問いかけがありました。つぶらな瞳を輝かせて、「はやくやってよ！」と言わんばかりに。

その言葉が後押しとなり、どのような形態で行うのが現況に一番則しているかを考えに考えた末、給食時の「お昼の放送」を利用した放送室からの読み聞かせでした。これならば、一人の読み手で、児童全員に聞かせることが出来る。

子ども達の反応は即座にはわからないけれど、黙食の中できっと、読み聞かせが心の栄養にもなる。そんな想いを携え、読書週間の1週間、毎日交代で読み聞かせを行いました。

題材も、給食時に合うよう、野菜を題材にした絵本を選びました。

子ども達からも「嬉しかった」や「面白かった」などの反応をいただきましたが、何より読み聞かせをしてくれた保護者の方々が楽しんでくれたことも、大きな喜びでありました。

こんな時期ではあっても、工夫次第でできることがある。これからも状況を察知し、皆が楽しく安全な読み聞かせを実践できるよう、活動を続けて参りたいと思います。

